

宮城県亘理町を支援します

わたりちよう

あの東日本大震災が発生してから4か月が経ちました。

大震災と津波の爪痕は広範囲で極めて大きく、被災地の復旧、復興には相当の時間がかかる状況にあります。

大震災当日、下野市民である自治医大看護学部的女子学生が宮城県亘理町の実家に帰省中に津波にのみれ、両親とともに命を絶たれました。

学生時代を下野市で過ごされた彼女にとって市は第二の古里といえると思います。私は、これをきっかけに市として亘理町を支援することを決め、議会の承認をいただき、去る6月23日、亘理町を訪問してまいりました。

250人以上の町民が亡くなり、津波で町の5割近くが浸水した被災地の想像を絶する現状を前にして、改めて、様々な支援を通して、亘理町とともに歩みを続けたいと心に誓ったところです。

また、斉藤町長を先頭に職員をはじめ、町民、ボランティアの皆様が一致団結して復興に取り組まれている姿に感動いたしました。斉藤町長からは、避難所暮らしの町民の方も間もなく仮設住宅に入居で

きる見込みが立ち、今後は入居者の心のケアが中心になり、必要な物資も変わってくる

とが予想されることから、そのような部分での下野市の支援をお願いしたい旨の説明がありました。また、下野市と亘理町との「災害相互応援協定」の締結に向け、準備を進めていくことを確認したところであります。

今後、亘理町の復興には相応な時間を要し、息の長い、様々な支援を行っていく必要があります。そのためには、市民レベルでの応援と交流が必要であることを実感いたしております。

そこで、社会福祉協議会と協議し、「応援団」を結成し、亘理町の現地で様々な活動を通じて支援する「応援隊」を組織し、それらの活動を市として支えていきたいと考えました。市民の皆様には、趣旨をご理解いただき、なにとぞ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成23年7月11日

下野市長 広瀬 寿雄

下野市社会福祉協議会長

宇賀持正紀

亘理町応援団を結成、団員募集

応援団を結成します

市および社会福祉協議会で、東日本大震災で被災した亘理町を市民レベルでの復興応援と交流を目的に応援団を結成します。

結成にあたり、団員を募集します。ぜひ趣旨をご理解いただきご協力くださるようお願い申し上げます。

応援団員になるには

- (1) 団員は、趣旨に賛同いただき、年額一人1,000円以上の会費を納入できる方を団員として募集します。(会費の上限に定めはありません)
- (2) 入団申し込みは、社会福祉協議会本所(ゆうゆう館内)および石橋支所(きらら館内)・南河内支所(ふれあい館内)で受け付けます。

応援隊を組織

応援団の事業を実施するため、応援隊を組織します。応援隊は亘理町に出向き現地で様々な活動を行います。

隊員は、団員の中から募り、活動内容によりその都度応援隊を組織します。

隊員の活動経費(当日の飲食等経費)は、自己負担になります。また、活動においての怪我などは、ボランティア保険適用となります。

応援隊の活動は、月1回程度で基本的に日帰りとし、バス利用とします。

応援隊の活動

活動内容は様々と思われませんが、次のような活動が考えられます。

必要物資をはじめ、炊き出し・話し相手・健康相談・健康教室・趣味講座・芸能・祭り・遊び・刃物とぎ・花植え・清掃作業・掃除、洗濯など、そのほか要望に応じた活動を予定しています。

応援隊の活動経費(自己負担分を除く)は、応援団が賄います。

問い合わせ先

社会福祉協議会 ☎(43)1236

社会福祉課 ☎(52)1112

生活安全課 ☎(40)5555

ホームページ

<http://www.city.shimotsuke.jp/>

市貝町職員派遣報告

東日本大震災による被災地支援の要請に応じ、5月16日(7月8日の8週間にかけて)芳賀郡市貝町の災害復興の支援を行ってまいりました。期間中は1週間に1人ずつ派遣され、り災・被災証明の発行及び災害見舞金の交付などの事務を受け持つてきました。

市貝町では、町内で唯一の中学校である市貝中学校ががり災し、使用できない状態となっており、また、一般の家屋においても全世帯の4割にあたる約1,600世帯がり災し、災害救助法の適用地域となっております。派遣された職員は、身近な市町村での大きな被害を目にし、復興までには今後とも多方面かつ長期的な支援が必要なることを改めて実感しました。



市長に報告する派遣職員